



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月1日

上場会社名 アクセルマーク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3624 URL http://www.axelmark.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾下 順治
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務本部長 (氏名) 鈴木 啓太 TEL 03-5354-3351
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	1,957	55.7	△20	—	△23	—	△31	—
28年9月期第2四半期	1,257	△24.7	△81	—	△84	—	△85	—

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 △27百万円 (—%) 28年9月期第2四半期 △89百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	△7.25	—
28年9月期第2四半期	△19.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	2,027	970	47.3
28年9月期	2,248	998	43.9

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 959百万円 28年9月期 986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年9月期第3四半期（累計）の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年6月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	2,719	20.4	△139	—	△145	—	△154	—	△35.23

通期の業績予想に代えて翌四半期の業績予想を開示しております。詳細は四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期2Q	4,370,900株	28年9月期	4,370,900株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	33株	28年9月期	33株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期2Q	4,370,867株	28年9月期2Q	4,370,867株

※ 四半期決算短信は四半期レビュー対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットを取り巻く環境は、引き続きスマートフォン利用者の多様化が進んでおり、スマートフォン利用者の増加傾向が続いております。一方で普及のスピードは徐々に緩やかになってきました。モバイルコンテンツ市場においても同様に成長速度の鈍化傾向が見られます。インターネット広告市場は「2016年日本の広告費」(株式会社電通 発表)によるとモバイルシフトが進み、スマートフォン広告が伸長しており、引き続き市場の拡大が見込まれます。

このような市場環境の下、当社は「持続的成長構造の構築」を当連結会計年度の事業戦略に掲げて取り組んでまいりました。当第2四半期連結会計期間では公式ライセンス商品のみを扱うサービス「coscrea(コスクレア)」を開始いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,957,058千円(前年同期比55.7%増)、営業損失20,006千円(前年同期は81,680千円の営業損失)、経常損失23,591千円(前年同期は84,541千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失31,668千円(前年同期は85,437千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

各セグメントの業績は、次の通りであります。

(モバイルゲーム事業)

当第2四半期会計期間は、「ワールドクロスサガ-時と少女と鏡の扉-」(以下「ワクサガ」)にてゲーム内バランスが悪化しユーザーが減少、その後バランス調整を行い、ユーザーの増加及び長期的な定着に注力してまいりました。また、海外での配信許諾タイトル「馭時之輪」では、配信許諾先においてオープンβテストを行った結果、市場に合わせたゲームの調整が必要との判断に至り、本格サービスの開始が後ろ倒しとなっております。「キングダム-英雄の系譜-」は2周年を迎え、引き続き堅調に推移しております。開発を進めているゲームタイトルは引き続き費用が先行して発生しております。前四半期比では減収減益となったものの、前年同期比では増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,165,838千円(前年同期比143.8%増)、セグメント利益は77,226千円(前年同期は10,756千円のセグメント損失)となりました。

(広告事業)

広告効果の改善や「ADroute」の新機能の追加、リッチメディア広告(リッチアド)領域の拡充に注力してまいりました。高い水準の広告効果を評価され、前年同期比で業績が伸びております。

以上の結果、当セグメントの売上高は789,913千円(前年同期比27.9%増)、セグメント利益は31,743千円(前年同期比327.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が35,044千円増加したものの、売掛金が121,020千円、仕掛品が82,224千円、その他の流動資産が74,304千円減少したこと等により前期末に比べて221,190千円減少し、2,027,343千円となりました。

負債については、買掛金が29,654千円、その他の流動負債が143,780千円減少したこと等により前期末に比べて193,177千円減少し、1,057,284千円となりました。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純損失31,668千円の計上等により、前期末に比べて28,012千円減少し、970,059千円となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における「現金及び現金同等物」(以下「資金」といいます。)は、前連結会計年度末に比べて35,044千円増加し、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は1,176,999千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な内訳は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、93,725千円の獲得(前年同期は128,240千円の使用)となりました。これは主に、未払金の減少148,831千円があったものの、のれん償却及び減価償却費等の計上30,582千円、売上債権の減少121,020千円、たな卸資産の減少82,896千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、41,553千円の使用(前年同期は73,946千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出19,690千円、敷金の差入による支出16,587千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、16,500千円の使用(前年同期は657,250千円の獲得)となりました。これは、長期借入金の返済による支出16,500千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

モバイルゲーム事業は「ワクサガ」のゲーム内環境を保ちながら、プロモーションや各種施策によるリグロースに注力いたします。また、「ワクサガPC版・海外版」の展開及び新規タイトルの開発を進めてまいります。広告事業はスマートフォン広告市場の拡大に合わせ、収益を伸ばしていくために運用力の強化とリッチアド領域への投資を進め、取引先の獲得に注力してまいります。新規事業は先行投資を進め事業展開の足場固めを進めてまいります。

平成29年9月期の業績予想につきましては、当社グループの事業を取り巻く環境が急速に変化しており、事業の成長速度を予測することが難しいことから、信頼性の高い通期の業績予想を算出することが困難なため、四半期毎に翌四半期の業績予想を公表させていただきます。

平成29年9月期第3四半期連結累計期間業績予想(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

売上高	2,719百万円(前年同期比20.4%増)
営業利益	△139百万円(前年同期は10百万円の営業利益)
経常利益	△145百万円(前年同期は5百万円の経常利益)
親会社株主に帰属する四半期純利益	△154百万円(前年同期は11百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,347,955	1,382,999
売掛金	437,183	316,163
仕掛品	106,199	23,974
貯蔵品	1,647	975
その他	131,074	56,770
流動資産合計	2,024,060	1,780,883
固定資産		
有形固定資産	46,250	59,378
無形固定資産		
のれん	38,263	13,265
その他	1,877	21,776
無形固定資産合計	40,140	35,042
投資その他の資産	138,082	152,038
固定資産合計	224,473	246,459
資産合計	2,248,534	2,027,343
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,951	175,297
1年内返済予定の長期借入金	33,000	33,000
未払法人税等	6,924	4,881
賞与引当金	32,335	31,135
その他	325,500	181,720
流動負債合計	602,712	426,034
固定負債		
長期借入金	647,750	631,250
固定負債合計	647,750	631,250
負債合計	1,250,462	1,057,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	563,900	563,900
資本剰余金	1,117,172	1,117,172
利益剰余金	△684,882	△716,550
自己株式	△25	△25
株主資本合計	996,165	964,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,368	△4,864
その他の包括利益累計額合計	△9,368	△4,864
新株予約権	2,872	2,872
非支配株主持分	8,402	7,553
純資産合計	998,071	970,059
負債純資産合計	2,248,534	2,027,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	1,257,110	1,957,058
売上原価	827,025	1,299,400
売上総利益	430,084	657,658
販売費及び一般管理費	511,764	677,665
営業損失(△)	△81,680	△20,006
営業外収益		
受取利息	358	87
為替差益	—	1,085
事業譲渡益	830	—
保証金等返還益	—	2,009
その他	721	1,228
営業外収益合計	1,910	4,410
営業外費用		
支払利息	637	3,191
株式上場関連費用	2,399	2,910
投資事業組合運用損	1,526	1,740
その他	207	153
営業外費用合計	4,771	7,995
経常損失(△)	△84,541	△23,591
税金等調整前四半期純損失(△)	△84,541	△23,591
法人税、住民税及び事業税	1,615	8,865
法人税等合計	1,615	8,865
四半期純損失(△)	△86,156	△32,457
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△719	△789
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△85,437	△31,668

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純損失(△)	△86,156	△32,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,673	4,504
その他の包括利益合計	△3,673	4,504
四半期包括利益	△89,830	△27,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△89,111	△27,163
非支配株主に係る四半期包括利益	△719	△789

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△84,541	△23,591
減価償却費	4,459	5,585
のれん償却額	24,997	24,997
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,493	△1,199
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△815	—
受取利息及び受取配当金	△358	△87
支払利息	637	3,191
投資事業組合運用損益(△は益)	1,526	1,740
売上債権の増減額(△は増加)	44,087	121,020
たな卸資産の増減額(△は増加)	△40,794	82,896
仕入債務の増減額(△は減少)	37,039	△41,498
未払金の増減額(△は減少)	15,675	△148,831
未払消費税等の増減額(△は減少)	△23,910	32,474
その他	△69,316	29,694
小計	△95,807	86,392
利息及び配当金の受取額	361	61
利息の支払額	△190	△3,164
法人税等の支払額	△32,604	△10,035
法人税等の還付額	—	20,471
営業活動によるキャッシュ・フロー	△128,240	93,725
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△312,000	△212,000
定期預金の払戻による収入	312,000	212,000
有形固定資産の取得による支出	△45,559	△19,690
無形固定資産の取得による支出	—	△5,288
出資金の払込による支出	△60,300	—
敷金の差入による支出	—	△16,587
敷金の回収による収入	31,712	—
その他	200	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,946	△41,553
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△40,000	—
長期借入れによる収入	700,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,750	△16,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	657,250	△16,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△627
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	455,062	35,044
現金及び現金同等物の期首残高	935,556	1,141,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,390,619	1,176,999

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	モバイル ゲーム事業	広告事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	478,175	617,442	1,095,617	161,492	1,257,110	—	1,257,110
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	478,175	617,442	1,095,617	161,492	1,257,110	—	1,257,110
セグメント利益又は損失 (△)	△10,756	7,426	△3,330	19,467	16,136	△97,817	△81,680

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△3,330
「その他」の区分の利益	19,467
全社費用(注)	△97,817
四半期連結損益計算書の営業損失	△81,680

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	モバイル ゲーム事業	広告事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,165,838	789,913	1,955,751	1,307	1,957,058	—	1,957,058
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,165,838	789,913	1,955,751	1,307	1,957,058	—	1,957,058
セグメント利益又は損失 (△)	77,226	31,743	108,970	△24,131	84,838	△104,845	△20,006

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	108,970
「その他」の区分の利益	△24,131
全社費用(注)	△104,845
四半期連結損益計算書の営業損失	△20,006

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、平成28年9月1日付でコンテンツ事業を譲渡したため、報告セグメントを従来の「モバイルゲーム事業」「広告事業」「コンテンツ事業」の3区分から、「モバイルゲーム事業」「広告事業」の2区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。